

# グループ社員が地球環境について考え、行動する日。 世界24カ国89社、約28,000人が参加しました。

夏至の夜、世界各地のリコーの広告塔、看板が消灯。世界各地でリコーグループ社員とその家族が、地球のためにさまざまなアクションを行いました。



環境イベントを呼びかけた英語版ポスター

## 「リコーグローバルエコアクション」で呼びかけたアクション

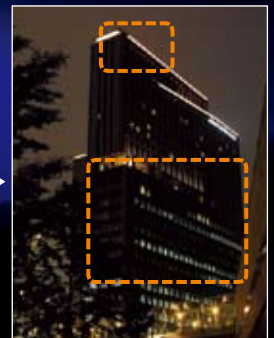
1. 日中からこまめにスイッチを切り、省エネを心がけよう。
2. 仕事を早めに終わらせ、職場の電気を消して帰ろう。
3. 家庭でも電気を消して、環境について家族と話そう。

- 広告塔、看板の消灯（広告塔、各事業所の看板などの消灯を呼びかけ）
- その他、各社・各事業所での独自のアクションの実施

※この活動は、日本の環境省主催の「CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーン～ブラックイルミネーション2006」とも連動しています。



室内灯・ネオン点灯時



室内灯・ネオン消灯時

背景写真：リコー本社1階入り口でのPR



アイスクリームを配布したときの引換券 (E-coin)



## 2006年6月21日、世界各地 リコーの広告塔・看板が消えました。

「リコーグローバルエコアクション」は、リコーグループが社員の環境意識啓発を目的として行った環境イベントで、社員一人ひとりが環境について行動してもらうことを狙いとしています。日本の夏至の日にあたる6月21日に職場での消灯、定時退社、環境について家族と対話することなどを呼びかけました。ポスターやイントラネットなどにより、積極的な呼びかけを行ったところ、世界24カ国89社、約28,000人が参加する大規模なアクションとなりました。看板・広告塔の消灯は、日本、中国、イギリス、オランダ、ベルギー、スペイン、ハンガリー、ポーランド、カナダなどで実施。職場の消灯やPCスイッチオフ活動は参加表明した社員の9割、19時までの帰宅は7割、家族との対話は8割が実施しました。



オランダ

ノーマイカー通勤の社員にアイスクリームを配布

カーシェアリングでの通勤の様子

## 各国が独自の アクションを実施。 CO<sub>2</sub>削減効果は合計で約4,470kg。

呼びかけを行った活動のほかには各国社員のアイデアにより、独自の活動が行われました。上海リコーファクシミリでは、6月19日～21日の間、事務棟のエレベーターを停止、6月21日は昼休みにPC約400台オフ、全社で定時退社、マイカー通勤自粛の呼びかけなどを

実施。アメリカのリコーエレクトロニクスでは、仕入先企業から寄付された苗木500本を社員に配布し、家庭での植林を推進しました。オランダのリコーヨーロッパでは、マイカーを使わずに公共交通機関や自転車などで出社した社員にアイスクリームを配布するなど、各国社員がさまざまな趣向を凝らしました。また、リコーチャイナでは、リコーだけでなく周辺の企業にも参加を呼びかけ、エコアクションの環を拡げました。この活動によるCO<sub>2</sub>削減効果は、推定で4,470kgでし

た。来年以降も、参加者のすそ野をさらに広げ、より大きなアクションとして展開していきます。



中国・上海

上海でのネオンの消灯



イギリス

優れた環境活動をした部署を表彰



インド

昼休みのオフィス消灯風景



中国

イベント参加者に抽選でプレゼントされた扇子

### 参加者の コメント

- 普段あまり気にしなかったのですが、初めて一日意識してみるとかなり電気のつけっぱなしが多いことに気づきました。
- 子どもたちとろうそくを買いに行って、夜8時に部屋の電気を消灯、お風呂もろうそくの明かりだけで入りました。“電気をムダにしないように”との話をしました。
- 普段は車で子どもたちを学校まで送るが、自転車にした。
- このイベントが環境を考える良い契機となりました。自分でできる範囲ですが、これからも小さな環境保全活動を行っていきたくと考えています。
- 地味かもしれないが継続すべき価値ある活動だと思います。